

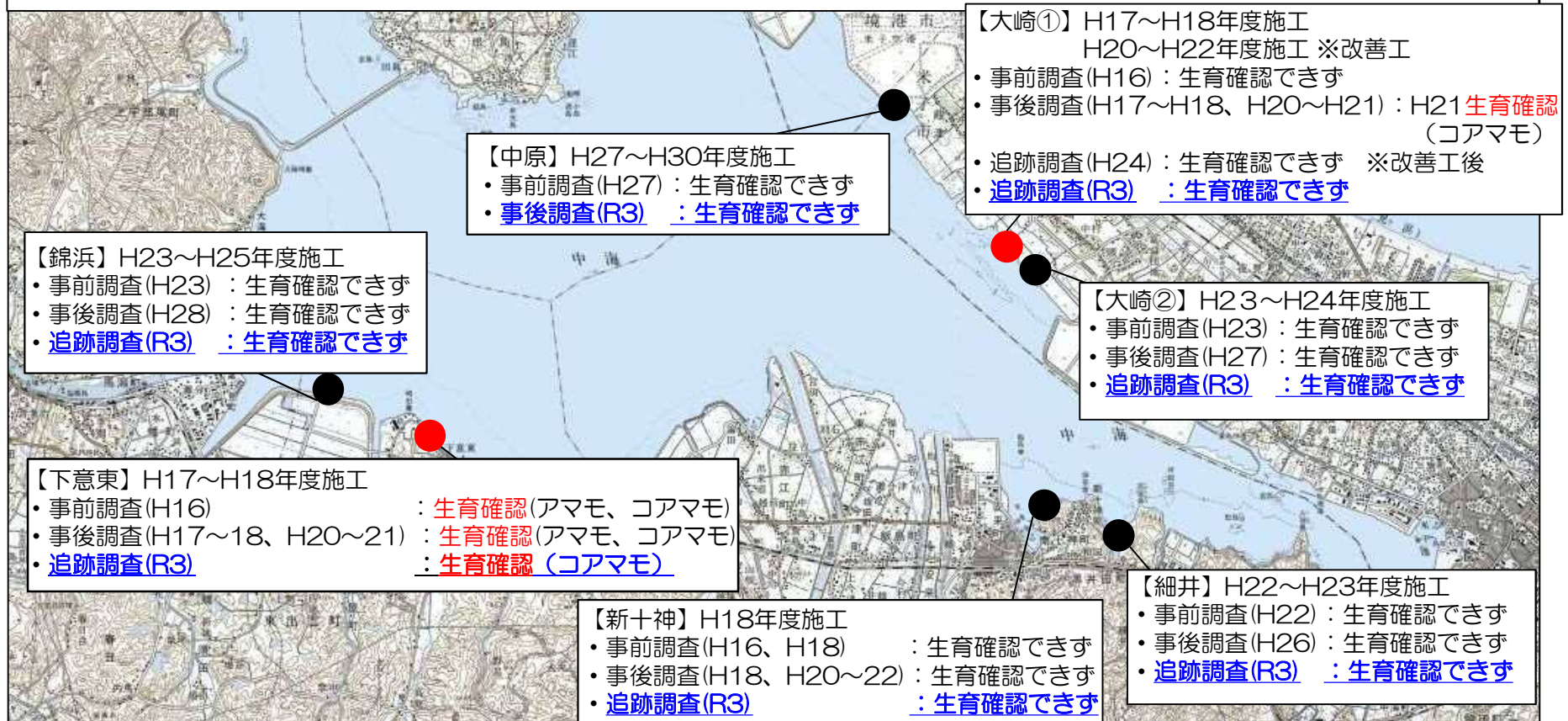
# ◆コアマモ、アマモの調査確認状況（浅場造成箇所）

## ＜海草類確認状況の概要＞

- 中海の浅場整備箇所を対象に、海草藻類調査を実施（整備前：事前調査 整備後：事後調査 追加調査時：追跡調査）。
- コアマモやアマモの生育が確認されたのは、下意東地区と大崎①地区。
- 但し、大崎①地区では、H24年の追跡調査時に生育を確認できなかった。理由として寄り藻による光合成の抑制と想定。

## ＜コアマモ等の生育条件と浅場の基盤状況の概要＞

- 生育環境水深 コアマモ：水深1m程度迄。アマモ：水深1～2m程度（干出しない水深）から約10m迄。
- 各浅場の水深は概ね水深1m程度。深い箇所では2m程度。
- 生育環境土質 コアマモ：シルト：70%以下、強熱減量10%以下。アマモ：シルト：30%以下、強熱減量：5%以下
- 各浅場の土質は、シルト：概ね10%以下（最大20%）、強熱減量：概ね5%以下（最大6.8%）



# ◆令和3年度コアマモ・アマモ調査時の他の海藻類状況

## ＜調査概要＞

- コアマモ、アマモ以外に下表に示す海藻類の生育を確認。

No.	地区名	浅場整備年	海草生育状況	海藻類確認状況
1	錦浜地区	H23～H25	生育なし	アオサ属、ウミトラノオ、カタノリ、ムカデノリ、オゴノリ属
2	下意東地区	H17、H18	コアマモの生育を確認。	イワトラノオ、オゴノリ属
3	新十神地区	H18	カワツルモの生育を確認	アオノリ属、アオサ属、オゴノリ属、カタノリ
4	細井地区	H22、H23	生育なし	アオサ属、ジュズモ属、カタノリ
5	大崎①地区	H17～H19	生育なし	ウミトラノオ、オゴノリ属
6	大崎②地区	H21～H24	生育なし	アオサ属、ウミトラノオ、オゴノリ属、カタノリ
7	中原地区	H27～H30	生育なし	アオノリ属、アオサ属、ジュズモ属、ミル、インガワラ属、ウミトラノオ、珪藻綱、カタノリ、ムカデノリ、イワノカワ科、オゴノリ属

